

4 地球温暖化に対してできること

◆ 福岡県気候変動適応センターについて



福岡県気候変動適応センター*1

地球温暖化による気候変動の影響への関心が高まってきたことから、福岡県では、2019（令和元）年に、福岡県気候変動適応センターを設置しました。センターでは、県内外の専門家などと連携して、気候変動の予測やその影響、適応に関する情報を収集・分析して、発信し、気候変動への適応の取り組みを支援していきます。

■ 気候変動適応パンフレット*1



CONTENTS

イントロダクション ～地球温暖化とは～	3
気候変動情報～日本と福岡県における気温上昇の現況・将来予測～	4～5
インタビュー ～教えて！福岡県の気候変動～	6～7
「適応」って知っていますか？	8
気候変動の影響と適応策に関する7分野の紹介	9
農業、森林・林業、水産業	10
水環境・水資源	11
インタビュー ～気候変動と農業～	12～13
自然生態系	14
自然災害・沿岸域	15
健康	16
産業・経済活動 県民生活・都市生活	17
インタビュー ～福岡市の気候変動適応策～	18～19
暮らしの中での身近な適応策	20
福岡県気候変動適応センターについて	21～22
問合せ先一覧	23

1*1 気候変動適応パンフレット（福岡県）

全体版は、センターのHPから <https://www.lccac.pref.fukuoka.lg.jp/>

(主な福岡県の適応施策)

農林水産業における対策*1

地球温暖化による夏季の高温によって、イネ（水稻）は、米粒の中心が白い未熟な米となるなどの品質低下が発生します。

福岡県では、地球温暖化への適応策として、高温に強い品種の開発に取り組んでいます。

これまでに夏の暑さに強く、味のよい品種「元気つくし」や「実りつくし」を育成してきました。

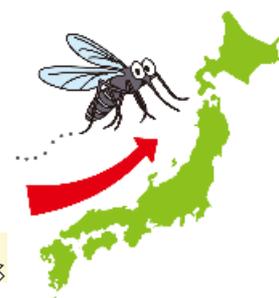
■ 「実りつくし」の米粒
(出典：福岡県農林業総合試験場)



健康に関する対策

地球温暖化により気温や降水量が変わることで、感染症の原因となるウイルスなどの病原体を運ぶ動物の種類が増えたり、分布が広がったりすることが考えられます。

例えば、これまで日本には生息していなかった熱帯の昆虫（蚊など）などの分布が、日本でも広がることで、ウイルス感染症などの病気も広がるのが心配されています。福岡県では、蚊の発生状況を継続的に調べ、蚊の発生抑制に努めています*2。



★福岡県が推進する「ワンヘルス教育」も一緒に調べてみよう!

福岡県 ワンヘルス教育 検索

■ 屋外で活動する場合に、蚊に刺されないようにする対策の例*2



- ①肌を出さない長そで、長ズボンなど着用する。
- ②白など色が薄い衣服を選ぶ（蚊は色の濃いものに近づきやすい）。
- ③虫よけスプレーや蚊取り線香などを使い、蚊を近づけない。

*1 福岡県農林業総合試験場ウェブサイト > トップページ > 登録品種
<http://www.farc.pref.fukuoka.jp/hinshu/hinshu.html>

*2 福岡県庁ウェブサイト > トップページ > 健康・福祉・子育て > 感染症対策 > 感染症情報 > 「蚊媒介感染症についてお知らせします」を基に作成
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kabaikai.html>